

第34回 多摩めぐり

多摩を深める 中島飛行機武蔵製作所のあった土地、
激動の昭和の時代をたどる



2023
5/14(日)



都立武蔵野中央公園（西工場跡地）



中島飛行機の運動場の今



当時は一番長い駅名であった

昭和の初め、北多摩郡武蔵野村西窪一帯（現武蔵野市緑町）はささぎもののない広々とした畑の続く農村であった。

昭和 13 年(1938)、突如として 36 万㎡の畑地が大工場に变じ、軍用機のエンジンの製造が始まった。それは飛行機製造会社中島飛行機の工場群で、「隼」、「零戦」のエンジンの 30%以上を製造した会社であった。

日本は、その航空機を使って太平洋戦争に突入するが戦況は悪化、昭和 19 年(1944)、米軍爆撃機 B29 による東京への空襲が始まる。その日本への最初の一撃はこの工場をターゲットにするものであった。計 9 回におよぶ爆撃で工場はもちろん周辺の住民にも甚大な被害が出た。

そして終戦。廃墟と化した工場群は戦後の復興へ向けて歩み出す。野球場の建設、そこへの鉄道の敷設、団地の建設、官庁の研究施設の移転、そして GHQ の居住施設もでき、工場跡地は多様な機能と景観を作り出すこととなった。

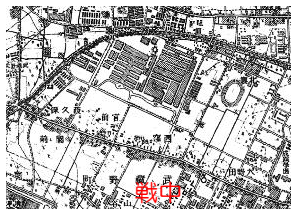
昭和 47 年(1972)、GHQ が退去して再び広々とした空が戻ってきた。その場所は平成元年(1989)に都立公園となり、今では人々の安らぐ空間を提供する場となっている。

この激動の昭和の 50 年間に展開した中島飛行機の工場のあった土地の物語を、現地を歩いてたどろうというのが、今回の企画です。

《地図に描かれた50年の変遷》



昭和初め



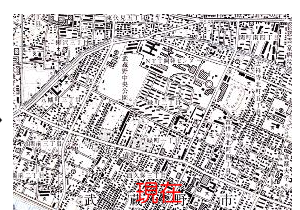
戦中



B29



戦後



現在



工場へ続いていた線路のモニュメント



爆撃の目標となっていた地点の今



戦争を見てきた最後の樹木も枯れた

◆コース◆

JR 中央線・三鷹駅北口（集合） → 太宰の跨線橋 → 武蔵野競技場線跡 → ぎんなん橋 → 関前高射砲陣地跡 → 関前公園 → 源正寺 → 延命寺 → 武蔵野中央公園（昼食） → グリーンパークスタジアム跡 → 武蔵野競技場前駅跡 → 武蔵野陸上競技場 → 下野谷遺跡 → 東伏見稲荷神社 → 西武新宿線・西武柳沢駅【総歩行距離 約 8km】

*集合日時 2023 年 5 月 14 日(日) 午前 9 時 30 分 小雨決行

（当日、発熱・風邪の症状などで体調不良の方はご参加を見合わせてください。）

*集合場所 JR 中央線 三鷹駅北口 解散は午後 3 時半頃を見込んでいます。

*ガイド 味藤 圭司

*費用 参加費 1,000 円（資料代・傷害保険料等を含む）

*募集人員 30 名（先着順）

*持ち物 弁当・筆記用具・雨具・飲み物・レジャーシート 他

*申込方法 氏名・年齢・住所・電話番号を明記し、Eメールで「多摩めぐりの会」事務局へ

*申込と問い合わせ 「多摩めぐりの会」事務局 Eメールアドレス⇒ tama.meguri@gmail.com

*当日の連絡先 090-7286-2124（味藤・みとう）

申込締切 5月7日(日)

予告 次回は、6月4日(日)に、第35回多摩めぐり「鎌倉街道・早ノ道（町田市）を歩く」を予定